

(8) 学校施設整備の状況

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす生活の場であり、また災害時の避難拠点としての役割担っているが、近年は、児童生徒急増期に一齐に建設された建物の老朽化が進んでおり、耐震性の確保や教育環境の質的な整備が求められている。

ア 校舎、屋体等の整備状況（新增改築）

表9 小学校・幼稚園

（平成29年度完成）

設置者	学校名	字級 数+ 晋特	区分	事業年 度	事業内 容	構造 階数	延面積 (㎡)	工 期
真岡市	山前小	8+2	校舎	28国債	統	R4	2,727	28.7~29.9
真岡市	中村小	13+2	校舎	28国債	統	R2	694	28.7~29.5

（平成30年度完成予定）

設置者	学校名	字級 数+ 晋特	区分	事業年 度	事業内 容	構造 階数	延面積 (㎡)	工 期
小山市	(仮称)城南 地区新設小	25+5	校舎	28国債	統	R3	5,891	29.3~30.10
小山市	(仮称)城南 地区新設小	25+5	屋体	28国債	統	RS2	1,171	29.3~30.10
佐野市	界小	13+3	校舎	29単年	新	S2	383	29.7~30.6
佐野市	あそ野学園義 務教育学校	26+3	屋体	29国債	新	S2	1,204	29.7~30.11

表10 中学校

(平成29年度完成)

なし

(平成30年度完成予定)

設置者	学校名	学級数 普+特	区分	事業年度	事業内容	構造 階数	延面積 (m ²)	工期
那須塩原市	黒磯中	9+3	屋体	29単年	新改	R	1,237	30.4~31.3

(注) 1. 対象校

平成29年度中に完成した建物及び平成30年度中に完成(または完成予定)の建物

2. 事業内容

新…新增築

統…統合

改…危険・不適格改築

震…地震防災対策

3. 義務教育学校については小学校分に計上している